

ネットワーク かまぼこ通信

Eメールアドレス kamaboko@mva.biglobe.ne.jp

2018年(平成30年)
3月10日(土) No.678

発行所 (有)ぽわそん通信
〒173-0012 東京都板橋区大和町38-10
電話/FAX (03)5944-4166

かまぼこ板の山幸
〒400-0337 山梨県南アルプス市寺部1381
株式会社 山幸
JAS認定工場
TEL 0552-82-3110 FAX 0552-82-3112
URL http://www6.ocn.ne.jp/~yamakou/

第3回すり身フォーラム日本、開催



参加者は120名にのぼった(ホテルサンルート有明で)

第3回すり身フォーラム日本が2月21、22の両日、約1,200名が参加し、オレゴン州立大学(OSU)主催により都内ホ

テルで開催された。すり身とねり製品に関する世界の最新情報、輸入業者・生産者、研究者等のスピーチ、報告された。その中で18年すり身市況について米国の生産者が見解を述べ、「13年は危機の年(すり身価格が低迷)だったのに対し、「よりよい年になろう」と予見した。

そのような中、「EUは積極的に(すり身)のオーダーを出しており、そのオーダーに米国は応えられない状況だ。加えて、中国からの引き合いが戻ってきており、特にグレードの高いすり身で顕著だ」。

米国生産者

18年、よりよい年になろう

EUオーダーに悲鳴

米国スケトウA物すり身の価格交渉は今月にも山場を迎えるもよう。その上げ幅が注目される。ところが、加えて段階的に、空板、塩など資材の値上げが目押しだ。さらに、燃料・物流コストの上昇、人手不足・最低賃金上昇による人件費アップなど、ユーザーのかまぼこ業者の肩にずしりと重くのしかかる。秋冬商戦へ向けた商談では、コスト吸収の限界

をすでに超えていることから製品値上げへ踏み切る業者も表れはじめた。

プラスチック
プラスチック容器は、国内大手メーカーの値上げ打ち出しが出揃った。最大手のエフピコは4月1日出荷分からの改定を実施する。改定幅は10%以上。ナフサやベンゼンといった原材料

料コストの上昇に加え、副資材や物流費の値上がりが必要。

売場の西友
西友は2月22日、食品を中心とした約500品目を平均で約7%値下げすると発表した。2015年から導入している売価を同一に保つ「プライスロック」の対象期間を6カ月から3カ月に短縮したうえで、値下げ商品を含めた品

目数を約3000と8割増やす。

スーパーでは、イオンや同社傘下のダイエーが積極的に値下げに乗り出している。

佐藤かまぼこ自己破産申請
帝国データバンクによると、(有)佐藤かまぼこ(大分県白杵市)は2月16日までに事業を停止し、自己破産申請の準備に入った。負債額は不明だ。

秋、製品値上げの動き

相次ぐコスト上昇、吸収できず

が、2011年5月に創設された同社は、5月7日に市内のスーパー内、得意先とのかまぼこにかまぼこ皮巻などに年売上00万円を7年6月00万円にいた。し、00万円を7年6月00万円にいた。

さす 民事

静岡・山さすぼし市、古牧1日、静岡再生手続し立てを全処分が井川鐵道クリプス新ひだか支援する久弥社は、ものば屋という院卒のイ規ビジネスに取り組アに販路飲食店をなど14年に「アジア企業」と「久弥社」が落ちる債の負担た。プラ、生活を考